

# FISHING トピック No.33

## 初夏のキス釣り

いよいよキス釣りのシーズンとなりました。ゴールデンウィーク明けから、もし少年自然の家の前に広がる喜多久海岸でキス釣りを楽しまれている方が徐々に増え始めています。今回はキスを釣るPOINTを紹介しましょう！一般的にキスとは「シロギス」のこと。シロギスは北海道～九州まで日本各地で釣ることができます。大きさは20cm前後が平均的なサイズですが、時々25cm以上の大物も姿を現すことも！大きいシロギスは釣り上げて持ち上げた時にビチビチと肘を叩くので「肘たたき」と呼ばれています。肘たたきサイズのキスを求めて投げ釣りに出かけました。5月頃までは冬を過ごした深場から浅瀬を目指してやって来ている時期のため、浜から釣るには100m以上遠投する必要があります。6～8月頃



は産卵に備えて活発にエサを求め、水深1mにも満たない浅瀬でもキスの姿を目にすることができます。ということで、浅瀬にやって来ているであろうシロギスをチョイ投げで狙いました。20～30mほど沖合に仕掛けを投げアタリを待ちます。しばらく待ってアタリがなければゆっくりと少し糸を巻いてアタリをまた待ちます。それを繰り返しているとコツコツと竿先にアタリが！上げてみるとシロギスが釣れていました。美しい銀色の魚体を煌めかせるキス。この美しい姿から「海の女王」「海の白雪姫」と称されています。その後も次々と釣り上げることができ最終的に30匹ほど釣ることができました。シロギスは数十尾の群れで行動しているため群れに当たると大漁になることが多いです。アタリがない時は場所をこまめに移動して群れを探すことが釣果に繋がります。今回は30匹ほどですが、運が良ければ3桁(100匹)越えの時もあるとか…。シロギスは釣るだけでなく食べることで楽しむ。

産卵期前の初夏に旬を迎え、身が締まり、脂がのったシロギスを天ぷらや刺身にすると絶品！また、縁起がよい魚で江戸時代の将軍であった徳川家では朝食には欠かせない食材とされていたことでも知られています。これからがキス釣りの本格的なシーズンです。みなさんも喜多久海岸でキスを狙ってみてはいかがでしょうか？潮が満ちている満潮の日の出・日の入り前後がオススメです！

